

秀明改

編集
アンチカルト編集室
発行所
家族を新興宗教
から守ろう
fujiyahoko@excite.co.jp

リセット

秀明会OBが
作っている秀
明信者のため
のページもご
覧下さい

瞬間に治ったのなら

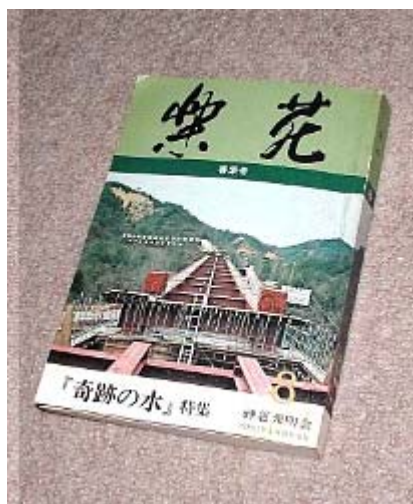
奇跡だけどねー

「奇跡の水」という割りには時間かかり過ぎ

昭和五二年四月二五日発行の神慈秀明会機関誌「楽苑」は、「奇跡の水」特集号だ。当時、神慈秀明会は滋賀県信楽町に新しい神殿を建設しようとして非常に活発に活動していた時期である。

この「奇跡の水」特集号巻頭には会主・小山美秀子自らの体験談を披露しているが、何とそこには転んで手を捻挫し、医者にかかっている様子が書かれている。医者がレントゲンを撮ってもらったり、湿布をしてもらったりして医学的治療を受けているのは、信者に対する指導とは大きく矛盾している。

秀明会の「奇跡の水」のお



楽苑・奇跡の水特集号

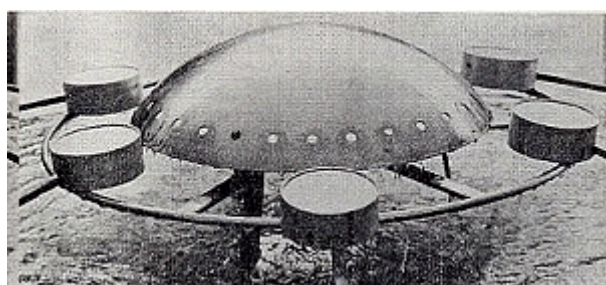
「奇跡の水」によるおかげ話が満載だが、どれ一つとして科学的に検証されたものはなく、全て信者からの自己申告であり、アホらしい申告の羅列ばかりが延々と続いている。本を出す以上は、もう少し整理すべきだろうに。



何だこれは？

この件に関する詳細な内容が、
<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/9575/kisekinomizu.html>
に掲載されています。

会主は医者にかかっているやんか！



京都市の水道水が流されている「みたらし」

神慈秀明会京都支部（左京区鹿ヶ谷）には、「みたらし」と呼ばれる手洗い場がある。滋賀県の秀明本部にも「雲が滝」というみたらしがある。ここに流されている水はただの水道水である。この水を飲んだり、身体につけたりした信者に「奇跡」が頻発しているそう、秀明会ではこれを「奇跡の水」と称している。

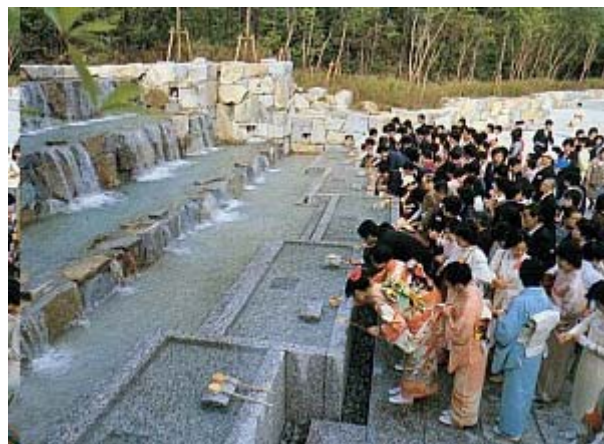
この「奇跡の水特集号」に掲載された500件以上の「おかげ話」が、ブラシーボ効果や自然治癒ではなく、この水が持つ特別の治療効果によってもたらされたとするならば、秀明会の「奇跡の水」は万病に効き、現代医学を凌駕するものと思われるが、その真偽は甚だ疑わしい。なぜならば、ここにはルルドの泉のような奇跡判定基準は全くなく、自己申告すれば全て奇跡とされる無秩序状態だからだ。

申告の大半は単なる集団ヒステリー！としか思えないものが延々と続いている。

流れているのは水道水です

ルルドの泉を真似したかったけど

奇跡の判定基準はゼロ



大津市の水道水が流されている「雲が滝」